

木造建物建築直接工事費計算書 [曳家工法]

所在地				整理番号					
建物所有者			電話	算定年月日					
法人代表者				採用単価					
所有者住所				用途(現況)					
構造概要				用途(建築時)					
柱の材種		品等	柱の分布		その他				
建物面積		1階床面積	2階床面積	延床面積		特記事項			
曳家条件				障害要素					
曳行要素				障害要素					
曳距離				回転	高低差	基礎重複	方向替	近接施工	傾斜地
1回目		2回目		3回目		計			
曳家工事費 [A]				補修工事費 [B]				直接工事費 計 [A] + [B]	
工種		計算内訳					直接工事費		
1 曳家工事費							計		
〔1〕 曳家基本工事費							小計		
曳距離 [a]	回転 [b]	高低差 [c]	基礎重複 [d]	方向替 [e]	近接施工 [f]	傾斜地 [g]	曳家係数 1+[a]+[b]+[c]+[d]+[e]+[f]+[g]		
1階床面積 A		規模補正率 B		2階建補正率 C		曳家係数 D	曳家基本工事面積 A×B×C×D		
出典 (1-1番号)	単価名称		形状寸法		単位	単価	曳家基本工事面積	金額	
〔2〕 基礎工事費							小計		
①-a 布基礎							① 計		
面積区分	用途	略記号	1階床面積 A	基礎率 B	基礎長 A×B=C	基礎切欠補正率 D	補正基礎長 C×D		
出典 (1-1番号)	単価名称		形状寸法		単位	単価	基礎長計	金額	
①-b 布基礎仕上げ									
出典 (1-1番号)	単価名称		形状寸法		単位	単価	基礎外周長	金額	

2 補修工事費						計	
〔1〕 仮設工事費						小計	
延床面積 A		規模補正率 B		建物形状補正率 C		仮設工事面積 $A \times B \times C = D$	/
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	仮設 工事面積	金額	
〔2〕 部位別補修工事費						小計	
部位別補修対象工事費 $\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} = A$		補修費率 B		部位別補修工事費 $A \times B$		/	
		30%					
① 外壁工事費						① 計	
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
② 内壁工事費						② 計	
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
③ 床工事費						③ 計	
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔3〕 床工事費						小計	
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	
〔4〕 建築設備工事費						小計	
① 電気設備						① 計	
出典 (2-1 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	

② ガス設備					② 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
③ 給水・給湯設備					③ 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
④ 排水設備					④ 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑤ 衛生設備					⑤ 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑥ 厨房設備					⑥ 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑦ その他設備					⑦ 計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
【5】 建物附随工作物工事費					小計	
出典 (2-1番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4判縦とし、必要に応じ記載項目を追加する。